

試合後、笑顔がこぼれる駒大イレブン。3戦連続逆勝ちと今年のチームは勝負強い(撮影・岩田陽一)



JR東日本カップ 2003 第77回関東大学サッカーリーグ戦(前期) 1部リーグ 第五節

駒澤大学2-1国士舘大学

原、巻のアベックゴールで逆転勝利！ 国士大との激戦制し、2位浮上！！

駒大を救った原の強烈な一発！！

前期リーグ戦も後半戦に突入。上位4チームの争いは混戦状態で、まだまだ首位折り返しを狙える位置につけている駒大。ここからは上位4チームによる直接対決。駒大の3連戦最初の相手は国士大。昨年のインカレで負け、大学3冠を阻まれた相手である。

駒大は「国士戦は相性がいい」（秋田監督）という田中を先発に起用し、ケガが回復したばかりの中後を中心に温存。前半は今季初対決ということで両チームとも様子見の展開。そんななか橋本を中心に国士大ゴールに迫る駒大は終了間際にはあわやゴールという場面も作り出し前半はやや駒大ペースで終了する。

後半に入り、先にチャンスを得たのは駒大。51分橋本のセンターリングに巻がダイレクトでシュート。しかし、不運にもシュートはGKの正面を突き得点にはいたらず。その直後である。53分に山崎の個人技に駒大守備陣が翻弄され先制点を許してしまう。またしても先制点を決められてしまい追いかける形となった駒大。しかし、「今年は逆転勝ちが多かったし焦りはなかった」（中田）というように駒大はすぐさま同点に追いつく。「今日は裏の仕事に徹することが出来た」という中田のパスから原が強烈なシュートを放つ。ボールはものすごい勢いでゴールネットへ吸い込まれ同点。国士大に傾きかけた勢いを引き戻すのに十分な得点であった。この得点で勢いに乗った駒大は57分に原、58分には廣井が国士大ゴールを襲う。そして迎えた66分。小林のセンターリングに原がゴール前で走り、こぼれ球を巻が押し込みついに逆転！原、巻の今季2度目のアベックゴールで国士大からリードを奪う。その後も攻撃の手を休めることのない駒大は国士大を圧倒。試合もそのまま終了し、駒大は直接対決初戦をものにした。

試合の終了後、選手たちは手を叩き合い価値のある勝利を喜んだ。「相手が思ったよりも攻撃してこなかったんで先制はされまじけと思いき通り